

# 文教産業委員会

## 行政視察の報告

8月4日～6日の3日間、次の調査研究項目について視察を実施しました。

- 経済成長戦略について（兵庫県朝来市）
- 学校再配置計画と小中一貫教育について（京都府京丹後市）
- ゆめづくり協働事業について（三重県名張市）



朝来市役所にて経済成長戦略についての説明を受ける

### 経済成長戦略について 〔朝来市 8月4日〕

朝来市は、恵まれた自然環境と交通の要衝としての立地環境のもと、個性的なもののづくりのまちとして発展してきた。また、全国屈指の山城である竹田城は、国内外から注目されるようになってきた。そうした中、これからの経済成長を目指すため、こうした市の強みを活かし、将来にわたって持続可能な地域経済の形成を図り、市民生活に活力を与える新たな成長に向けた戦略的な取り組みを示す「経済成長戦略」を策定した。

経済成長戦略の将来テーマ「進化・挑戦するメイド・イン・朝来」を目指して取り組むべき3つの重点戦略と8つのプロジェクトを設定し、現在、創意工夫を凝らした経済活性化施策に取り組んでいる。

### 学校再配置計画と小中一貫教育について 〔京丹後市 8月5日〕

平成16年に誕生した京丹後市は、小中学校の児童生徒数の漸減により、学校の小規模校化が続いている。このような状況の中で、平成19年から取り組んできた学校再配置では、次代を担う子どもたちを「まちの宝」として位置付け、保護者や地域住民等と対話を通じて理解を深め、小中学校の適正規模化と教育環境の向上を図るための再配置を実施した。

学校数では、小中学校合わせ、平成22年の39校から、現在は27校となっている。また、学校再配置の取り組みを契機に、市全域で「小中一貫教育」を進めている。これは、就学前を含む10年間を一体として捉え、一貫した教育課程により、小中学校が目標や指導方法を共有し進めている。また、子どもたちが郷土への理解、愛着と誇りを高めるため、各学校の特徴を活かした「丹後学」を実施している。

### ゆめづくり協働事業について 〔名張市 8月9日〕

名張市では、平成15年、まちづくりを住民が自ら考え、自ら行うことを目指し、快適で安全な生活確保と住民の創意と責任によって、誰もが生き生きと暮らすことができる地域をつくりあげるため「ゆめづくり地域予算制度」を創設した。

この制度は、地域と行政の役割分担を明確にし、市の権限と財源の一部を市内15の地域づくり組織へ移行するものである。各地域では、理念や基本構

### 分野別市民意見交換会の報告

前号で紹介できなかった2団体との意見交換会の内容を報告します。

〔7月10日〕

高山市商店街振興組合連合会…10名

#### ◎テーマ

観光まちづくりにおける商店街の役割について

#### ●主な意見

- コンベンション誘致は大切。連携できるような情報の一元化を
- 起業者に対し、ワンストップで相談等ができる体制づくりを
- 子どもたちに自分のまちを見直す教育等が必要
- 北陸新幹線をはじめ、交通の流れの変化に対応した受け入れ体制の整備が必要
- 海外からの観光客に客の取り組みを強化

〔7月14日〕

高山金融協会…11名

#### ◎テーマ

地域経済の活性化について

#### ●主な意見

- 観光では、滞在時間を延長する方策、市内循環させるお金を増やす取り組みを
- 観光農業や木工関連産業等と連携して市内生産を増加
- 高山には他地域にない魅力があり、今後は古い町並みと現代のまちづくりとのコラボが重要
- 高山の特徴を活かし魅力をプラスさせた大学誘致を
- 自然エネルギーによる新産業や雇用創出への取り組みを